

遠 2378 74

馬琴作

江戸名物
永春吉例

お旬殿兵衛仇討物語

信田妹手白猿牽

豊國画 仙鶴堂壽梓

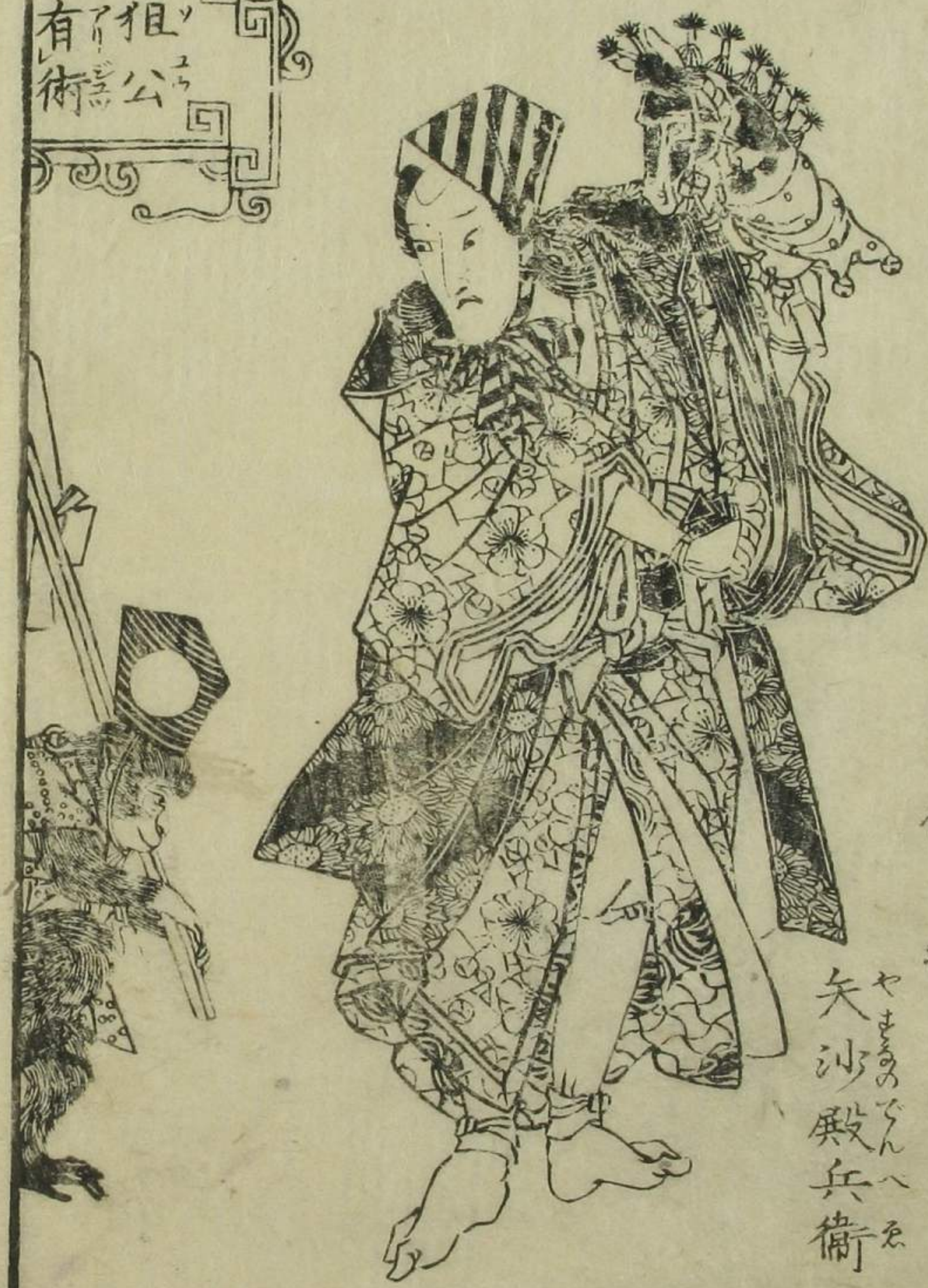


朝四暮三乃經營一曲二もこれ信田妹手狂小猿も人を艱か
 皆是教ふ信田妹手小あむやも人を教を受む忠なく
 孝を形なき獸も如き人を教を受む忠なく
 その智人小あむやも彼涪陵の雛猿のいふその母猿乃
 箭を振く樹葉を巻て瘡を塞ぎ又元忠が婢のとき猿あむ
 主乃為小薪水の夏を教めりかま猿も忠あり孝ありよ小
 八行は缺る人も猿あむもあほ恥べ猿平猿平嗚呼猿平
 君子も化しこの物小あむやも然るをその智の足るむとて
 上の壁小あむやもあむとれを教ふも愛つ例乃草紙小
 作し設く書肆乃責を塞ぐむ

曲亭馬琴識



有^レ祖^ノ公^ヲ
術^ヲ



春駒^{ハルコ}を隙^{ひま}に年^{とし}はたし先^{さき}が信天翁^{シンテンウ}

矢沙殿兵衛^{ヤサノデンヘイエ}

有^レ塞^{サエ}翁^ウ
識^し使^し馬^バ
相^あ亦^{また}猿^{サル}
狂^{きやう}大^{だい}

猿^{サル}
秋^{アキ}乃^の月^{つき}
毛^け乃^の風^{ふう}



葛^{クサ}の葉^は
お旬^{しゅん}

葛衣のうらみろくしや
汗風 玄同

愛護野與二郎

勝智無
於



意地川
悪右衛門

機而機
閑閑

狐火小箱乃
玉乃

閑齋



悪右衛門妻
木津

糸



与次郎妻

奴やう平



稲妻は
と我
不
其角

奴やう平

[illegible]

[illegible][illegible]

まゝんとおのそ
ちきさこ人を
もふゆと無さふ
ちとのさやま
くをこのいふ
あふふひん
くとをむとま
りんにあふふ
あふふふちあ
はれふふふふ
くらへ思ふらん
を幸ゆてふらつ
さををさるふ人
つて人すあらう
日とよむふふふ
といひさしてふ
ての人えんぶ
とををふふふ
かめつるふ
ふてふてふ人
さしてのわりなり
○のみよくこ
上あふふふ
一のふさう
ち一ふふふ
つらふふふ
どのふふふ
つれのふふふ
てふふふ
てふふふ

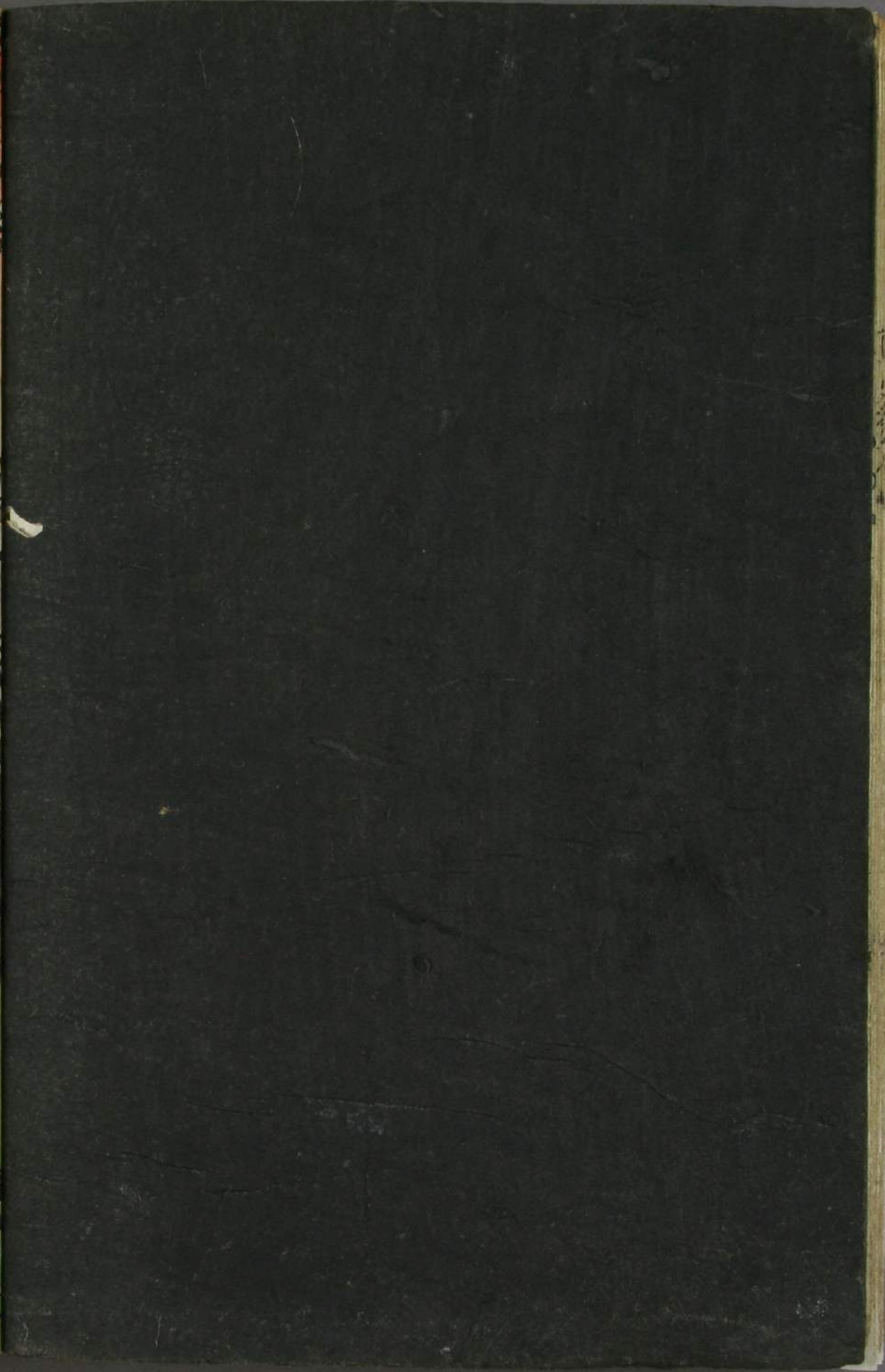


せんとてせとふ
かゝりもくろは
てしうへ目とに

さきさきうへにゆを
ふのれにゆあそなとん
日一をんまふ小づき入



中編





二

此の世に生るるものには、
 一は、人、二は、物、三は、事、
 四は、理、五は、法、六は、義、
 七は、徳、八は、行、九は、功、
 十は、名、十一は、利、十二は、害、
 十三は、福、十四は、禍、十五は、災、
 十六は、難、十七は、厄、十八は、病、
 十九は、死、二十は、終。



てゐる

十一

〇京橋より
 〇大塚より
 〇池袋より
 〇上野より
 〇浅草より
 〇日暮より
 〇葛西より
 〇江戸より

[illegible]

唐國のあらう用ふ
 いとまなれはのまこ
 そのなりをえむを
 うふより平をあらふ
 つりして佐助を
 わんゆをよらせその
 身もさうくいのり
 うまうてふりこ
 つけてそののつ
 とちよりうまつ
 おかをよとひあふ
 むろいふゆをあらふ
 ぜんまふたうあらふ
 あいせうをよめふ
 わく思ひうけ
 そのうまふれを
 あらひてんまへ
 なるふをあらふ
 まうゆをあらふ
 めのあらふ
 おひあらふ
 るまあらふ
 ゆまあらふ
 まうとあらふ
 うまあらふ
 わいあらふ
 ゑまあらふ
 つまへ



[Handwritten Japanese text, likely bleed-through from the reverse side.]



春新繪草紙

全部六冊

下編

通油町鶴屋喜右衛門梓行

唐のうの西の方のふきりあけをまにあや
とめをいへまゝとてふたりのちのん中よ
知るべきにめてよいとてくちをいへまゝとて
とまふのとてふたりのちのん中よ
とてふたりのちのん中よ

いんまふもさうふ
まふおづ川原を
もさふもさふ
おさふのぞ

平

[illegible][illegible]

[illegible]

[illegible]

アイエ、うーくもみとら
ハイあのこだ。まうこ
えーもうむ

[illegible][illegible]



丁酉
 二五
 二六
 二七
 二八
 二九
 三〇
 三一
 三二
 三三
 三四
 三五
 三六
 三七
 三八
 三九
 四〇
 四一
 四二
 四三
 四四
 四五
 四六
 四七
 四八
 四九
 五〇
 五一
 五二
 五三
 五四
 五五
 五六
 五七
 五八
 五九
 六〇
 六一
 六二
 六三
 六四
 六五
 六六
 六七
 六八
 六九
 七〇
 七一
 七二
 七三
 七四
 七五
 七六
 七七
 七八
 七九
 八〇
 八一
 八二
 八三
 八四
 八五
 八六
 八七
 八八
 八九
 九〇
 九一
 九二
 九三
 九四
 九五
 九六
 九七
 九八
 九九
 一〇〇

平
 殿
 唐の孫
 太平

[illegible]

又やんきやうふくまの
 のてりやうおしやう
 ざりし和久今おかく
 たのやともしき
 んふふめ
 ぬきあふ
 ゆうき
 ま
 又やんきの
 のてりやうおしやう
 ざりし和久今おかく
 たのやともしき
 んふふめ
 ぬきあふ
 ゆうき
 ま

